



第3回光技術シンポジウム

<http://unit.aist.go.jp/photonics/event/3-1.htm>

3月1日(金)、日本科学未来館みらいCANホールにおいて第3回光技術シンポジウム「光-ITとライフサイエンス ～光技術が変革する21世紀の福祉高齢化社会～」が、約125名の参加者により開催されました。

本シンポジウムでは、21世紀の福祉高齢化社会に重要と思われる、光を利用した情報通信技術(IT)、ライ

フサイエンス研究にかかわる第一人者を講師に迎え、光技術の現状と将来について語っていただきました。光技術研究部門からは、中堅・若手研究者により最近の研究結果が発表されました。我々にとって身近な近未来のテーマに関わるものだけに有意義なシンポジウムであった、との感想が参加者から多く聞かれました。



第8回 自分で作ろう！化石レプリカ

3月23日(土)、産総研地質標本館において、「第8回 自分で作ろう！化石レプリカ」が行われました。地質標本館では、子供たちに地球科学に興味を持ってもらおうと、これまでいろいろな体験型イベントを行ってきました。中でも化石のレプリカ作りは人気のイベントです。石膏を水で溶いて型に流し込み、固まった後取り出した物を記念品として持ち帰ることができ、さらに自分流に水

彩絵の具で色つけできることなどが人気の要因となっています。毎年参加者からアンケートをとり、できるだけ要望に添うように努力しながら、1998年以来このイベントを定着させてきました。

今回作製した化石は「異常巻アンモナイト」と「新生代巻貝ビカリエラ」の2種類ですが、参加者全員が両方のレプリカ作製を希望しました。いかに本物らしく作るかがコッ



ですが、2つとない自分のコレクション作りに子供も大人も真剣な眼差しでした。当日は192名の参加者がありました。



ROBODEX2002 にロボット出展

3月28日(木)から3月31日(日)までの4日間、パシフィコ横浜において、最先端の人間共存型ロボットを一堂に集めた大規模な博覧会「ROBODEX2002」が開催され、企業や大学などから多くのパーソナルロボットの展示・実演が行われました。

産総研では、メンタルコミット・ロボット「パロ」と人間型ロボット「HRP-2P」を出展し大勢の人の注目を浴びました。「パロ」は子供たちの人気の的になり、訪れた人々が思わず背中を撫でてしまうなど、その癒し効果の大きさを実証しました。また、軽量で多自由度構造を持つ二足歩行ロボット「HRP-2P」は、ヒトと共同で机を目

的の場所に移動させる作業のデモンストラクションを行い、働くロボットとしての性能をアピールしました。

期間中は、いろいろな実演やイベントが開催され、会場は終日大盛況でした。

